# 【よくある編集 ~ 圧縮・重なり、均等配置、配置反転など~】

商品を陳列したら、棚の端が赤い線で表示され商品が見えません。 商品を配置したら、均等に並ばず乱雑に陳列されているように見えてしまいます。 商品の並びを簡単に左右反転させたいのですが...

棚の端の商品が赤い線で表示された場合には、その棚から商品がはみ出していることを意味しています。このような場合には、「圧 縮」や「重なり」陳列を用いると、商品を棚からはみ出さずに陳列することができます。 商品の配置が乱雑に見えるときには、商品の配置間隔が統一されていないことが考えられます。「均等配置」をお試しください。 商品の並びを簡単に左右反転させる必要があるときには、「反転」が便利です。

キーワード:プロパティ、ゴンドラ情報編集、圧縮、均等配置、重なり、反転、交換 登録日:2019/1/1

# 目次

1.	ゴンドラ幅の変更	3
2.	商品の選択	8
	2.1. 单一選択	8
	2.2. 複数選択	9
	2.3. 商品の範囲選択	. 10
3.	商品の圧縮	. 12
4.	商品の重なり陳列	. 18

5.	商品の均等配置	. 23
6.	商品の配置反転	. 26
7.	商品の交換	. 30

1. ゴンドラ幅の変更

PTS データ(共通棚割情報)をインポートしたり、ゴンドラを選択して伸縮させたりすると、ゴンドラ幅がまちまちになってしまうことがあり ます。そのような場合、直接ゴンドラ幅を指定して設定することができます。本項の例では、ゴンドラの幅を3尺(900mm)に揃えます。 (1)1 台目のゴンドラの袴を右クリックします。



(2) 右クリックメニューが表示されますので、[プロパティ]を実行します。



(3)[ゴンドラ情報編集画面]が表示されます。 [ゴンドラ全体]の[幅]に数値を入力します。[後壁(背板)]を使用している場合には、[後壁(背板)を 使用する]の[幅]も変更します。最後に、[次のゴンドラに移動]ボタンをクリックしてください。

「コンドラ情報変更	
	1     ゴンドライメージ:     扉設定       490度回転     日90度回転
幅を入力します。 ここでは「900mm(3 尺)」に 変更します コンドラの色: コンドラの色: コンドラの色: コンドラの色:	シャンプーリンス2台目          を90度回す           を90度回す        シャンプーリンス2台目           を強度           背板を使用している場合は             ・          ・          ぞ右反転           背板も変更します。             ・          ・          ・          ・
サイズ設定(mm)	
コントウ王は: 壁・天板・背板設定(mm) ■ 天板を使用する	····································
<ul> <li>ご 左壁を使用する</li> <li>ご 右壁を使用する</li> <li>□ 右壁を使用する</li> </ul>	Rei:     0     #fi:     0     ③[次のゴンドラに移動]       Rei:     0     #fi:     0     ボタンをクリックします
<ul> <li>✓ 後望(背板)を使用する</li> <li>ピッチ設定(mm)</li> </ul>	5 厚さ: 20 ÷ 幅: 1035 ÷
<ul> <li>こッチを設定する</li> <li>吊下げ設定</li> <li>吊下げ先:</li> <li>前のゴンドラに移動</li> <li>次</li> </ul>	

(4)すべてのゴンドラで同様に[ゴンドラ全体]と[後壁(背板)]の[幅]を変更し、最後に[設定]ボタンをクリックしてください。

其大情報			棚・フック設定
ゴンドラ番号	: 3	ゴンドライメージ:	<b>扉設定</b>
ゴンドラ種別	: 多段	石90度回転	
ゴンドラ名称	: シャンプーリンス4台目	左右反転	
ゴンドラの色	色選択	上下反転	
コメント:			
		「避択」 クリア	
サイズ設定(mn	0	ABEDIAN	
ゴンドラ全体	: 幅: 900 高さ: 1	780 – 奥行: 600 – 陳列可能高さ: (	0
下板・番梧	10		
[幅]を	する 幅: 0 👙 厚さ:	0 🖕 奥行: 0 🛬	
力します	1する 厚さ: 0 🖕 奥行:	0 4	
右壁を使い	厚さ: 0 🔶 奥行:		動]
□前壁を使用	iする 厚さ: 0 🛔	ボタンが押せなくなる	(設定)ボタン
☑ 後壁(背板	を使用する 厚さ: 20 🛓 幅:	900 全 右端のゴンドラです	クリックしてくだ
ピッチ設定(mn	0		
ビッチを	定する 基準: 0 🛓 間隔:	0	
吊下げ設定			— /
吊下げ先:	○前のゴンドラ ○次のブッドラ 長	3下げ高さ(mm): 0 🛓	
前のゴンドラに	移動 次のゴンドラに移動		設定キャンセル

(5) ゴンドラの幅が設定されました。この例では、すべてのゴンドラ幅が3尺(900mm)に揃えられました。



#### 2. 商品の選択

メニューを実行するときに、対象となる商品を選択します。商品の選択には単一選択、複数選択などの方法があります。

#### 2.1. 単一選択

(1)商品をひとつ選択するときには、マウスの左クリックで選択します。



### 2.2. 複数選択

(1) 「Ctrl キー」を押しながらマウスの左クリックを繰り返すと、商品を複数選択することができます。



選択解除の例

2.3. 商品の範囲選択

(1)対象の商品群の端でマウスを左クリックしドラッグしてください。

(2) 商品群が決まったらマウスの左ボタンを放します。すると商品群が選択状態になります。



マウスを左クリックし、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすと、選択範囲をしめす矩形が表示されます。この矩形に重なった商品 群を選択対象とすることができます。複数の商品を一度に選択したい時に便利です。 (3)「Ctrl キー」を押しながらマウスの左クリックや範囲選択を繰り返すと、選択商品群に商品を追加・削除することができます。



### 3. 商品の圧縮

(1)商品の幅を「圧縮」します。はみ出している商品が袋物や詰め替えなど、実際の売場で圧縮陳列できるものの場合には「圧縮」が適して います。



(2) 圧縮したい対象の商品を選択します。本項の例では、2.3.商品の範囲選択を用いて複数の商品を選択しました。



(3) 選択状態となった商品群の上で右クリックし、右クリックメニューを表示します。[圧縮]-[圧縮]を選択します。



(4)[商品圧縮画面]が表示されます。何%圧縮するかを入力してください。ここでは「20」を入力します。



(5)商品群が元の幅の「80%」の幅に圧縮配置されました。



(6)さらに、棚からはみ出している商品について同様に圧縮陳列していき、商品がすべて棚に陳列されるように調整します。



4. 商品の重なり陳列

(1) 商品を「重なり」陳列します。チューブやポンプなど、ななめ置きして陳列するような商品は「重なり」陳列が適しています。



(2)重ねたい対象の商品を選択します。本項の例では、2.3.商品の範囲選択を用いて複数の商品を選択しました。



(3) 選択状態となった商品群の上で右クリックし、右クリックメニューを表示します。[重なり]を選択します。



(4)[陳列物の重なり画面]が表示されます。[陳列幅]の初期表示値は選択商品群の幅の合計値(mm)です。重なり陳列時の陳列幅を入力してくだ さい。ここでは「350」を入力します。



(5)選択した商品群が「350mm」の幅で重なり配置されました。



### 5. 商品の均等配置

(1)陳列済みの商品の間隔が均等になるように配置します。棚板を右クリックし、右クリックメニューを表示します。[配置変更]-[均等]を選択 します。



[配置]メニューには、[均等]の他にも[左揃え][右揃え][中央揃え]を用意しています。状況に応じてお使いください。 [反転]のメニューについては、「<u>6..商品の配置反転</u>」にて説明します。



[配置]メニューは選択状態のものを対象に実行されます。今回は棚板を選択し[均等配置]を実行しましたが、選択した商品群、棚板ごと、ゴ ンドラごと、モデル全体を対象に実行することも可能です。 (3) ツールバーにて、[均等配置]を実施することも可能です。対象商品を選択して[均等配置]をクリックすると、右クリックメニュー[均等]と同様に対象の商品群が均等配置されます。



#### 6. 商品の配置反転

(1) [反転]機能を用いると、選択した商品の並びが左右反転します。動線に合わせて商品の並びを変えたいときなどに便利です。 本稿では、商品を何も選択せず、ゴンドラ全体を左右反転します。



(2) ゴンドラの外側のモデル空間内で右クリックし、右クリックメニューを表示します。[配置変更]-[反転]を選択してください。



(3)反転実行の確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



### (4) モデル全体で商品の配置が反転しました。



## 7. 商品の交換

(1) 商品 と の位置を入れ替えたい場合には、[交換]機能が便利です。



(2)位置を交換したい対象の商品群 を選択します。本項の例では、2.3.商品の範囲選択を用いて複数の商品を選択しました。



## (3)引き続き、商品群 も同様に選択します。この時、「Ctrl キー」を押しながら、商品群を選択してください。ここでは、2.3. 商品の範囲選 <u>択</u>を用いて商品を選択しました。







(4) 選択状態となった商品群の上で右クリックし、右クリックメニューを表示します。[交換]を選択します。





本項では例として商品を複数選択した「商品群」の交換を行いました。

商品の交換は、商品群 、商品群 の商品数を一致させる必要はありません。商品 (単品)と商品群 (複数)での交換も可能です。 棚の陳列商品と作業スペース内の商品とを交換することも可能です。 <u>
く注意></u>商品群 と の選択は、「<u>何も商品を選択していない</u>」状態から「<u>2度の連続した選択操作</u>」が必要です。選択操作が3回以上にな ったり、選択操作の間で別のメニューを実行したりすると、[交換]メニューを実行することはできません。



#### ご注意

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに付属するマニュアルおよびヘルプ(以降各マニュアルと表記します)の著作権は、 日本総合システム株式会社にあります。

本ソフトウェアおよび各マニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

本ソフトウェアおよび各マニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアの仕様および各マニュアルの内容は、将来予告なしに変更することがあります。

StoreManagerは日本総合システム株式会社の日本における登録商標です。

Tanawariは日本総合システム株式会社の中華人民共和国における登録商標です。

Microsoft, Windows, .NET FrameworkおよびSQL Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Firebirdは、Firebird Foundation Incorporated.の登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright © 2019 日本総合システム株式会社

StoreManagerGX Version6.0 FAQ 簡易操作マニュアル

第1版

発行日 2019年1月

発行者 日本総合システム株式会社